

一般質問

6月3日、4日の本会議で、22人の議員が、市政全般について、一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

外環道の建設よりもくらしを応援する施策を



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 国も地方も社会保障費を抑制する厳しい財政状況の中、「国幹会議」で整備計画路線として承認された外環道は、住環境を破壊し膨大な税金を費やす高速道路だ。医療・介護など優先すべき課題が山積する中で、早急に取り組むべき事業なのか、「外環道の必要性」について所見を聞く。
市長 交通渋滞の緩和及び環境改善を図るための広域的な交通ネットワークを形成する環状道路として必要であると認識をしている。

議員 大気汚染、地下水脈の分断、交通渋滞、都市農業破壊などの課題に対する国・都の「対応の方針」を市は評価しているが、市民は納得していない。市は何を評価しているのか伺う。
市長 交通環境やまちづくりに関する方向性について

三小校舎 子どもや地域の声 建て替え 生かし慎重な検討を



日本共産党 森 徹 議員

議員 第三小学校校舎建て替えの説明会で、校舎の配置等に関して多くの質問が出たと聞く。対応を伺う。

今後も迅速・詳細な情報提供に努めていきたい。
議員 校舎建替検討委員会において、保護者・地域・学校関係者の意見をどのように集約していくのか。
教育部長 様々な立場の委員により計画案の検討を進め、経過を保護者や市民に周知し、意見を聞いていく。

議員 検討委員会での検討状況を中間報告すべきた。
教育部長 保護者等を対象に説明会を開いて、状況を報告し、意見を聞いていく。
議員 コミュニティ・スクールの取り組みを、校舎建て替えにどう生かすのか。
教育部長 検討委員会での検討課題としていきたい。
議員 学校は「母校」の言葉

小・中一貫教育の課題解決と 少人数学級の実現を



日本共産党 大城 美幸 議員

議員 これまでの小・中一貫教育校の検証の中で、教員の多忙化が課題でも指摘、議論され課題になっている。教員の多忙化の解決に向けた取り組みは行われているのか。現状を伺う。
教育部長 開園前1年、開園後2年にわたり各学校に配置する後補充補助教員や、効率的な事務処理を行うた

のとおり、子どもにとって特別な思いがある存在だ。学校の主役である子どもや現場の先生の声を生かす仕組みが必要ではないか。
教育部長 東台小で行ったワークショップの取り組みと同様の対応を考えている。
議員 計画案では校舎が校庭の南側に配置されているが、周辺の敷地や建物等によって将来的に影響を受けないか心配だ。校舎の位置は検討対象となるのか。
教育部長 今回の計画案が絶対的なものとは考えていない。検討委員会において指摘の点も確認しながら検討するのがよいと考える。
その他の質問 今後の都市農業について

議員 これまでの小・中一貫教育校の検証の中で、教員の多忙化が課題でも指摘、議論され課題になっている。教員の多忙化の解決に向けた取り組みは行われているのか。現状を伺う。
教育部長 開園前1年、開園後2年にわたり各学校に配置する後補充補助教員や、効率的な事務処理を行うた

新型インフルエンザに備え 安心・万全の対策を



日本共産党 岩田 康男 議員

議員 関西地方での経過や事例等を踏まえた新型インフルエンザ対策が必要だ。これまでの三鷹市の対応における教訓と課題を伺う。
市長 庁内体制の整備、国・都との情報共有及び市民への情報提供の重要性を再確認し、今後も安全安心の確保に一層努力していく。

議員 新型インフルエンザによる市民の不安を解消するため、広報特集号の発行等でPRしていくべきだ。
健康福祉部長 広報でPRし、掲載内容を保存・活用できる工夫を検討したい。
議員 市民が発症した際の指定医療機関の受け入れ体制と蔓延期に陥った際の診療体制について伺う。
健康福祉部長 発生早期では柔軟な対応により受け入れ体制が確保されている一方、蔓延期には隔離措置が

の着実な向上が図られつつあると報告を受けている。
議員 児童、保護者の声はどのように把握するのか。
教育部長 それぞれの学園のコミュニティ・スクール委員会等の場で、児童・生徒、保護者及び教職員等の意見を把握し、次年度の学校運営に反映していく。
議員 市は30人以下の少人数学級の実現に向けた要望書を国・都に提出しているが、実現のためには、さらなる働きかけを行うべきだ。今後の取り組みを伺う。
教育部長 引き続き要請を継続していきたい。

議員 関西地方での経過や事例等を踏まえた新型インフルエンザ対策が必要だ。これまでの三鷹市の対応における教訓と課題を伺う。
市長 庁内体制の整備、国・都との情報共有及び市民への情報提供の重要性を再確認し、今後も安全安心の確保に一層努力していく。

議員 新型インフルエンザによる市民の不安を解消するため、広報特集号の発行等でPRしていくべきだ。
健康福祉部長 広報でPRし、掲載内容を保存・活用できる工夫を検討したい。
議員 市民が発症した際の指定医療機関の受け入れ体制と蔓延期に陥った際の診療体制について伺う。
健康福祉部長 発生早期では柔軟な対応により受け入れ体制が確保されている一方、蔓延期には隔離措置が

市民が幸せに生きる まちづくりのために



こい色のつばき 野村 羊子 議員

議員 今、日本では「ワーキングプア」と呼ばれ、働

「あつてはならない」生活水準である貧困、特に母子世帯など女性の貧困に対する施策の展開について伺う。
市長 本人の自立支援を柱として、就労支援による所得の増、養育費の確保、児童扶養手当などの公的支援等が総合的に展開されるべきものと考えている。

議員 住民登録のないDV被害者に、独自の財源で定額給付金を支給している自治体がある。三鷹市としてDV被害者に定額給付金を支給する予定はあるのか。
第二副市长 国の基準や国庫補助の範囲内で運用しているが、窓口での申請の状況、補正予算において他の事業との緊急度等を勘案しながら慎重に対応したい。
議員 都市再生の観点に基づき、既存の公共施設の更新、再配置事業の取り組み

議員 現在、様々な感染症の発生が問題になっていて、感染症対策は迅速かつ適切な行政の対応が必要だ。ノロ、ロタウイルスなどの感染症に関して、市の保育園への指導を伺う。
健康福祉部調整担当部長 感染症危機管理マニュアルを各園に配付し、その徹底を図っている。また、保育園では日常より手洗い等の感染予防に取り組んでいる。
議員 保育園が感染症を市へ届け出る基準を聞く。
健康福祉部調整担当部長 感染症発生時は、ただちに

議員 今、日本では「ワーキングプア」と呼ばれ、働

に当たっては、市民の多様な声を集約することが必要と考える。市民ニーズの把握の方策について伺う。
市長 利用者の満足度や解決すべき課題等についての十分な把握に努め、職員が通常業務を通じて得ている様々な市民ニーズを的確にとらえて進めていきたい。
議員 公共施設の建設に当たっては、コンセプトを含めた基本プランからの市民参加が必要だ。三鷹市都市再生ビジョンの中で提示されている「市民センター周辺地区」の整備・再配置の今後の方向性について伺う。
市長 当該事業想定用地については用地取得の交渉中であり、慎重に対応している。できる限り最小のコストで質の高いサービスを提供できる施設整備のあり方について検討を進めたい。

議員 現在、様々な感染症の発生が問題になっていて、感染症対策は迅速かつ適切な行政の対応が必要だ。ノロ、ロタウイルスなどの感染症に関して、市の保育園への指導を伺う。
健康福祉部調整担当部長 感染症危機管理マニュアルを各園に配付し、その徹底を図っている。また、保育園では日常より手洗い等の感染予防に取り組んでいる。
議員 保育園が感染症を市へ届け出る基準を聞く。
健康福祉部調整担当部長 感染症発生時は、ただちに

議員 現在、様々な感染症の発生が問題になっていて、感染症対策は迅速かつ適切な行政の対応が必要だ。ノロ、ロタウイルスなどの感染症に関して、市の保育園への指導を伺う。
健康福祉部調整担当部長 感染症危機管理マニュアルを各園に配付し、その徹底を図っている。また、保育園では日常より手洗い等の感染予防に取り組んでいる。
議員 保育園が感染症を市へ届け出る基準を聞く。
健康福祉部調整担当部長 感染症発生時は、ただちに

議員 今、日本では「ワーキングプア」と呼ばれ、働



にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会